

東北厚生局管内における保険医療機関及び保険薬局の 指定及び廃止等状況について

厚生労働省 東北厚生局

Ministry of Health, Labour and Welfare of Japan

用語の解説

保険医療機関、保険薬局

健康保険法第63条第3項第1号に規定する厚生労働大臣の指定を受け、健康保険法等で規定する療養の給付を行う病院若しくは診療所（保険薬局においては薬局）

新規指定保険医療機関、新規指定保険薬局

保険医療機関（保険薬局）として新規に指定を受けた機関（以下、文中「新規指定機関」との略称を用いている部分はこれにあたります。）

廃止等保険医療機関、廃止等保険薬局

機関を廃止、保険診療（薬局においては「保険調剤」）を辞退（ ）した保険医療機関（保険薬局）（以下、文中「廃止等機関」との略称を用いている部分はこれにあたります。）

保険診療（保険調剤）を行わないことを地方厚生（支）局に届出し受理された状態を示します。

東北平均

東北6県（東北厚生局管内）の平均を示します。

本資料の数値について

機関数

保険医療機関または保険薬局より東北厚生局に届出された件数をもとに、令和4年3月15日時点で集計した機関数となっています。

このため、当局がホームページ上に掲載している機関数と異なる場合があります。

医科併設数及び歯科併設数は、新規指定保険医療機関数、廃止等保険医療機関数の数値に計上されています。

このため、新規指定保険医療機関数と廃止等保険医療機関数の差が、総保険医療機関数の増減と一致しない場合があります。

人口総数

令和2年国勢調査

青森県（青森事務所）

医科

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

青森県

医科（新規指定）

分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の新規指定機関は、青森県の人口が集中している青森市（15件）、八戸市（17件）、弘前市（13件）の3市に集中している。
人口総数が最も多い区分（赤色）での新規指定機関が48件であった。
- 人口総数が最も多い区分（赤色）以外の区分においては、7自治体で新規指定機関が確認されたが、それぞれ1件であった。
- 28自治体では、新規指定機関はないことが確認できる。

2020年国勢調査 市区町村

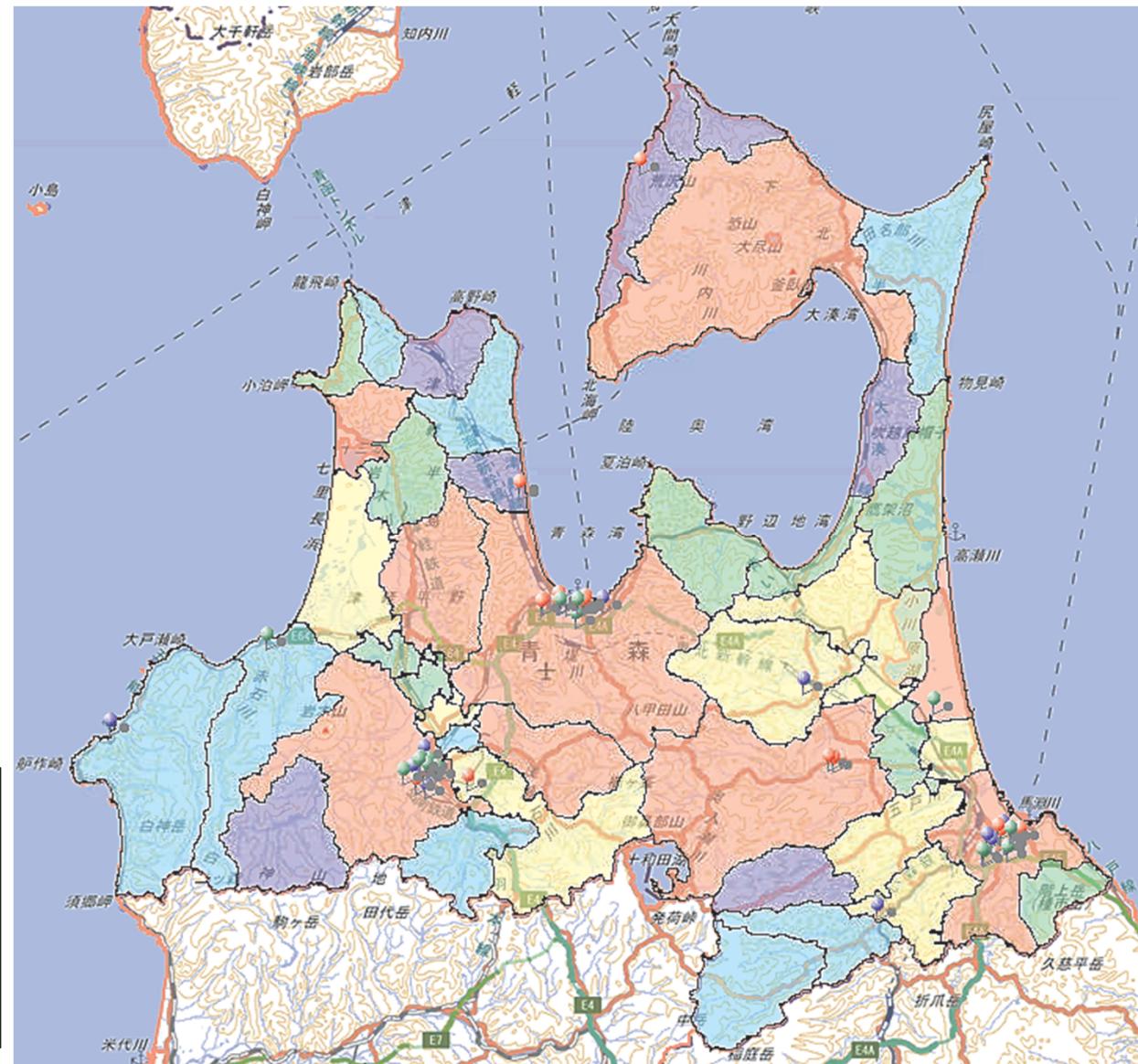
⋮



新規指定保険医療機関（医科）

- : 平成30年度
- : 令和元年度
- ▲ : 令和2年度

青森県内の新規指定保険医療機関状況及び県内の人口総数

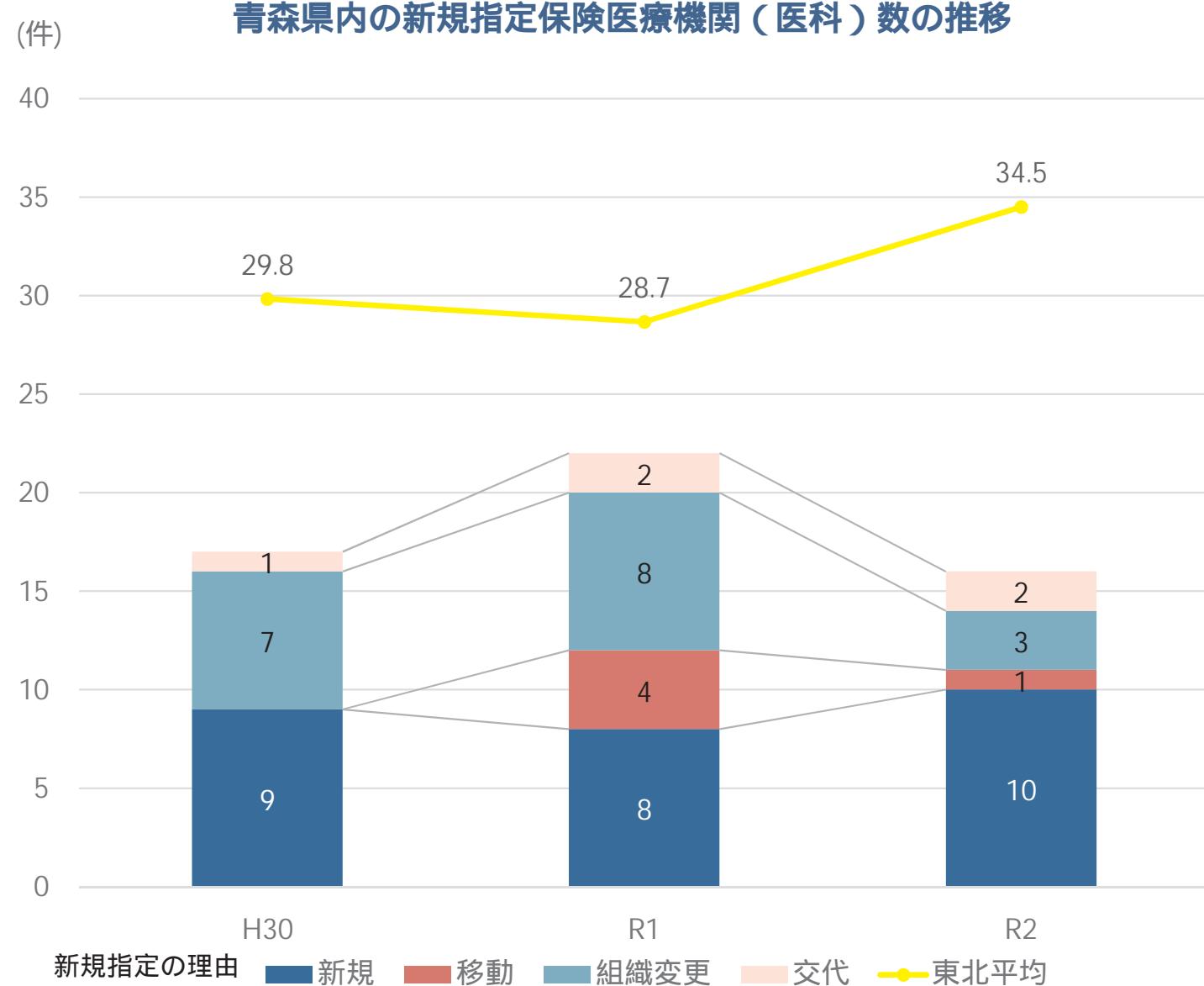


医科（新規指定）

分析結果

- 青森県内における新規指定機関数は、平成30年度17件、令和元年度22件、令和2年度16件と上下しながら推移している。
- 青森県の新規指定機関数は、いずれの年度も東北平均を下回っている。

東北厚生局管内における新規指定機関数の平均は、平成30年29.8件、令和元年度28.7件、令和2年度34.5件である。（以下、件数の表示は省略）

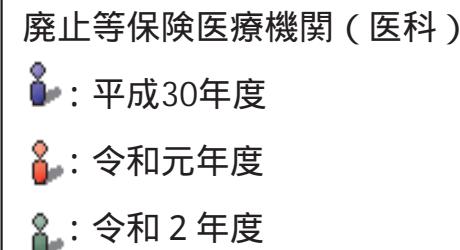
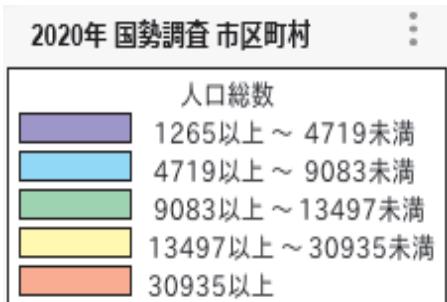


青森県

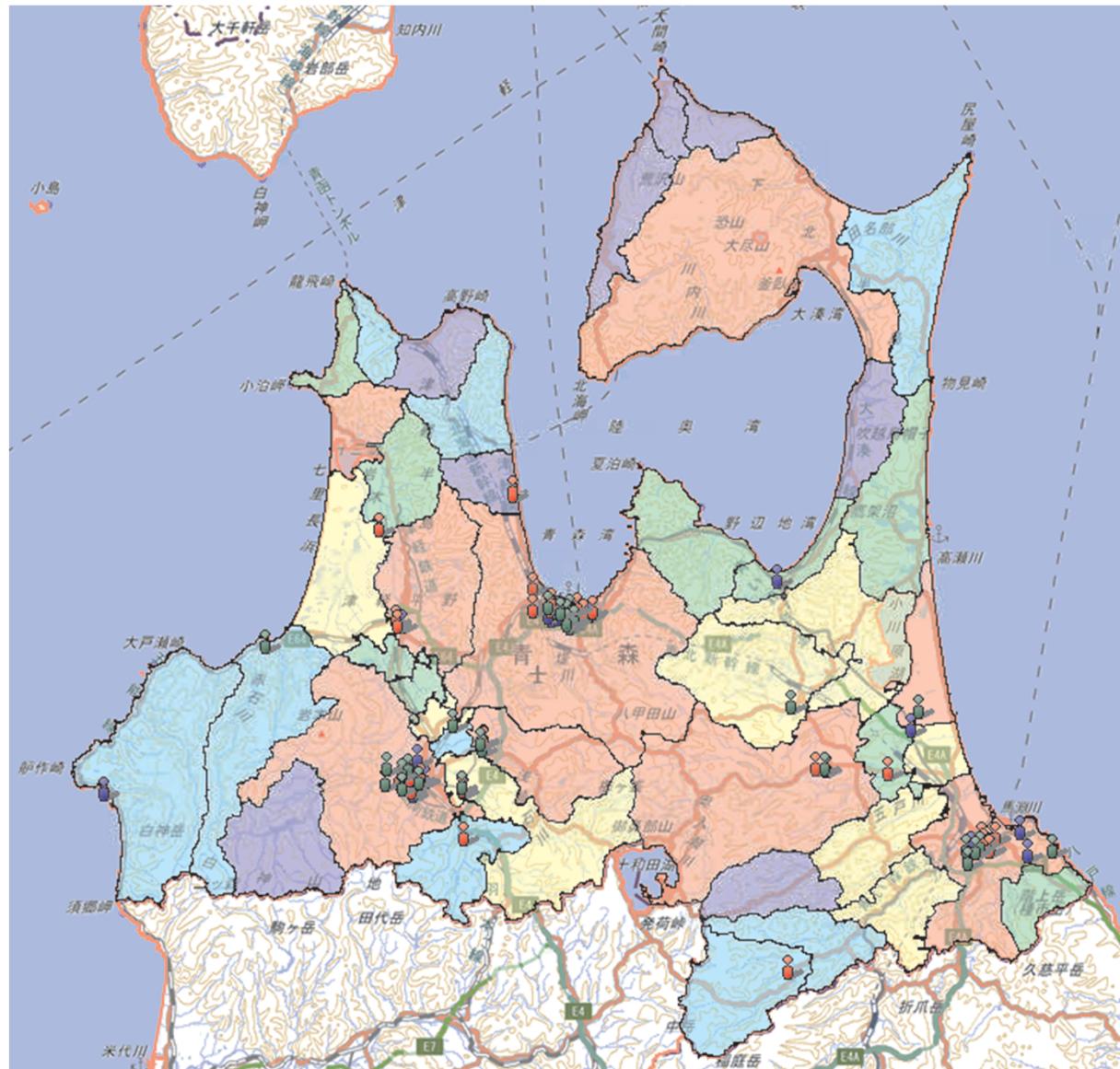
医科（廃止等）

分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の廃止等機関は、青森県の人口が集中している青森市（25件）、八戸市（16件）、弘前市（17件）の3市に集中している。
人口総数が最も多い区分（赤色）での廃止等機関が69件であった。
- 人口総数が最も多い区分（赤色）以外の区分においては、12自治体で廃止等機関が確認されたが、平川市の3件以外はそれぞれ1件であった。
- 21自治体では、廃止等保険医療機関はないことが確認できる。



青森県内の廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数

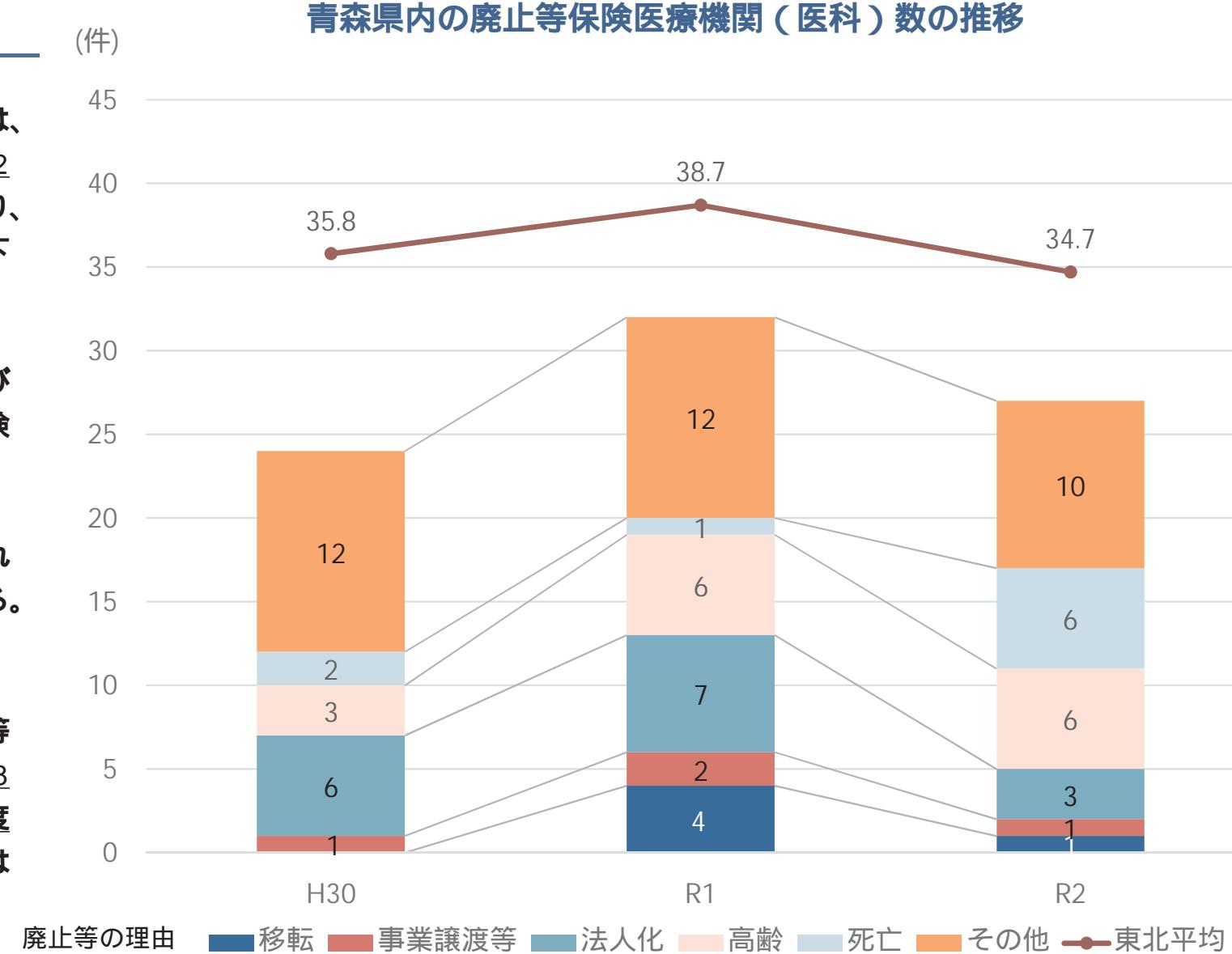


医科（廃止等）

分析結果

- 青森県内における廃止等機関数は、平成30年度24件、令和元年度32件、令和2年度27件となっており、新規指定機関の状況と同様に上下しながら推移している。
- 青森県においては、「高齢」及び「死亡」を廃止等理由とする保険医療機関が増加している。
- 青森県の廃止等機関数は、いずれの年度も東北平均を下回っている。

東北厚生局管内における廃止等機関数の平均は、平成30年度35.8件、令和元年度38.7件、令和2年度34.7件である。以下、件数の表示は省略)

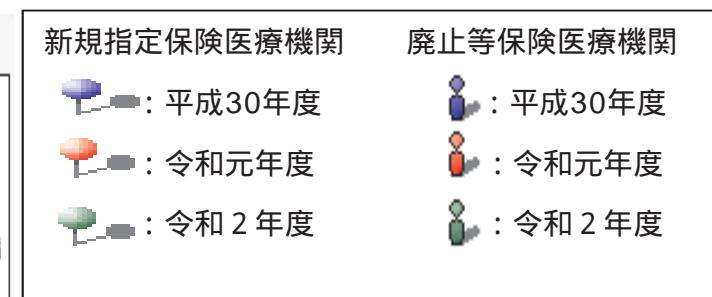


青森県

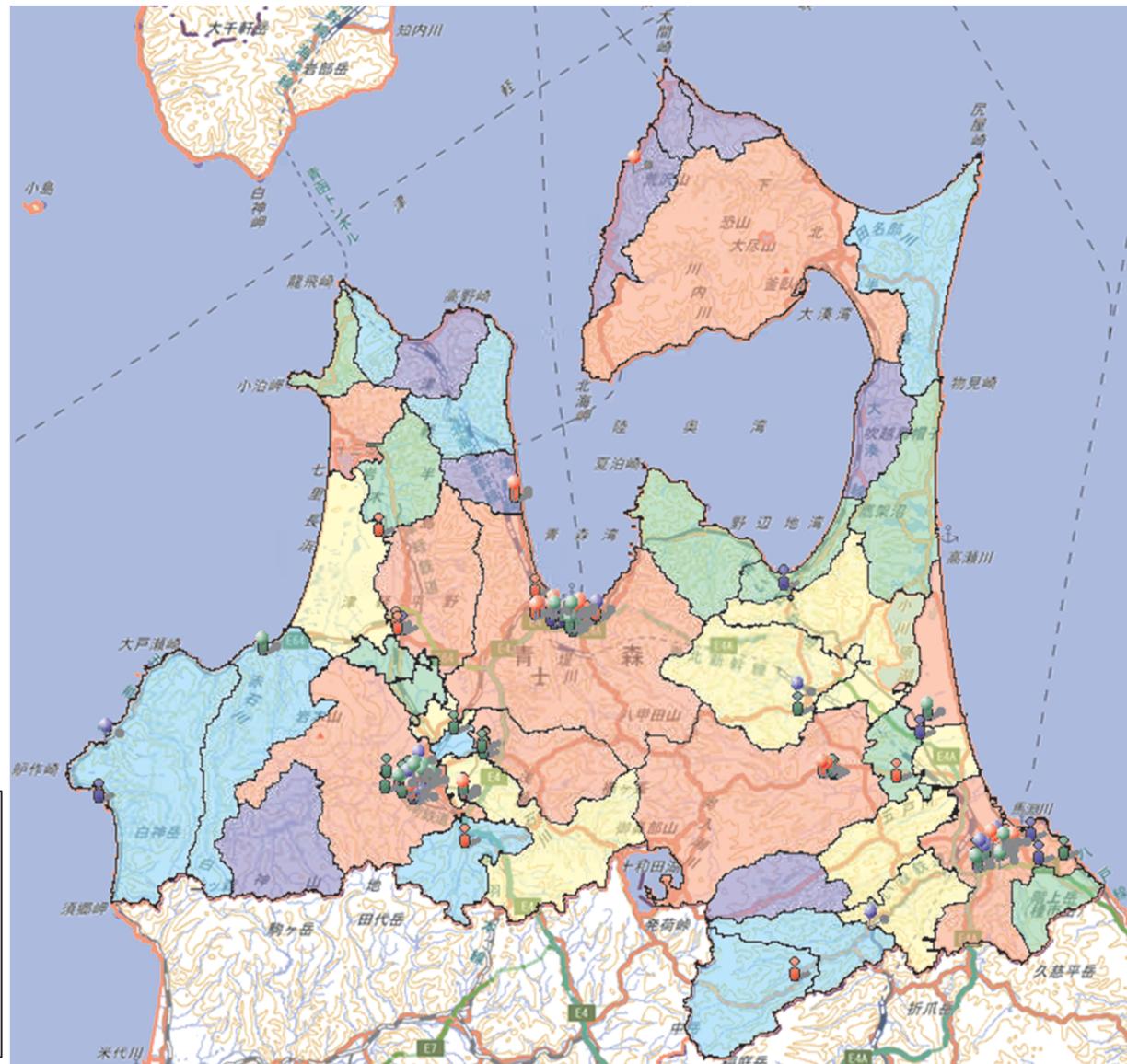
医科（総合）

分析結果

- 青森県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、ほぼ同様に分布しているが、廃止等機関の方が人口総数にかかわらず広く分布している。
- 新規指定機関が廃止等機関を上回った自治体は、3自治体で、上回った件数はすべて1件であった。
- 過去3年間において新規指定機関がないにもかかわらず、廃止等機関があった自治体は9自治体あり、同地域における保険医療機関の減少が懸念される。



青森県内の新規指定・廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数

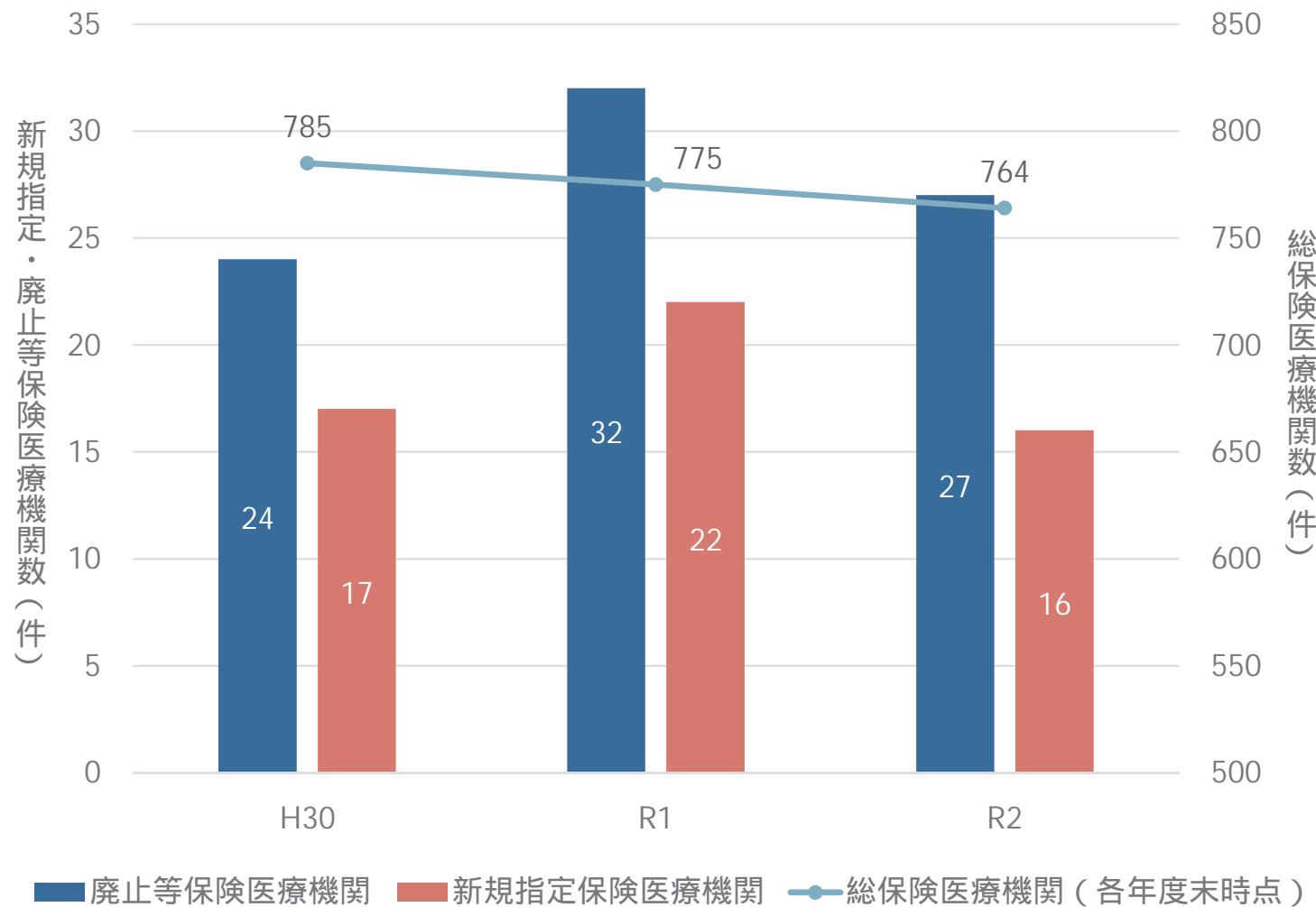


医科（総合）

分析結果

- 青森県内における保険医療機関の総数は、平成30年度785件、令和元年度775件、令和2年度764件と減少傾向にある。
- 過去3年間において、常に、廃止等機関数が新規指定機関数を上回っており、総件数で28件上回った。

青森県内の新規指定・廃止等保険医療機関（医科）数と 総保険医療機関（医科）数の推移



青森県（青森事務所）

歯科

ひと、くらし、みらいのために



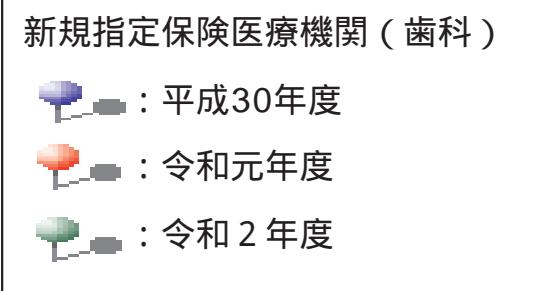
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

青森県

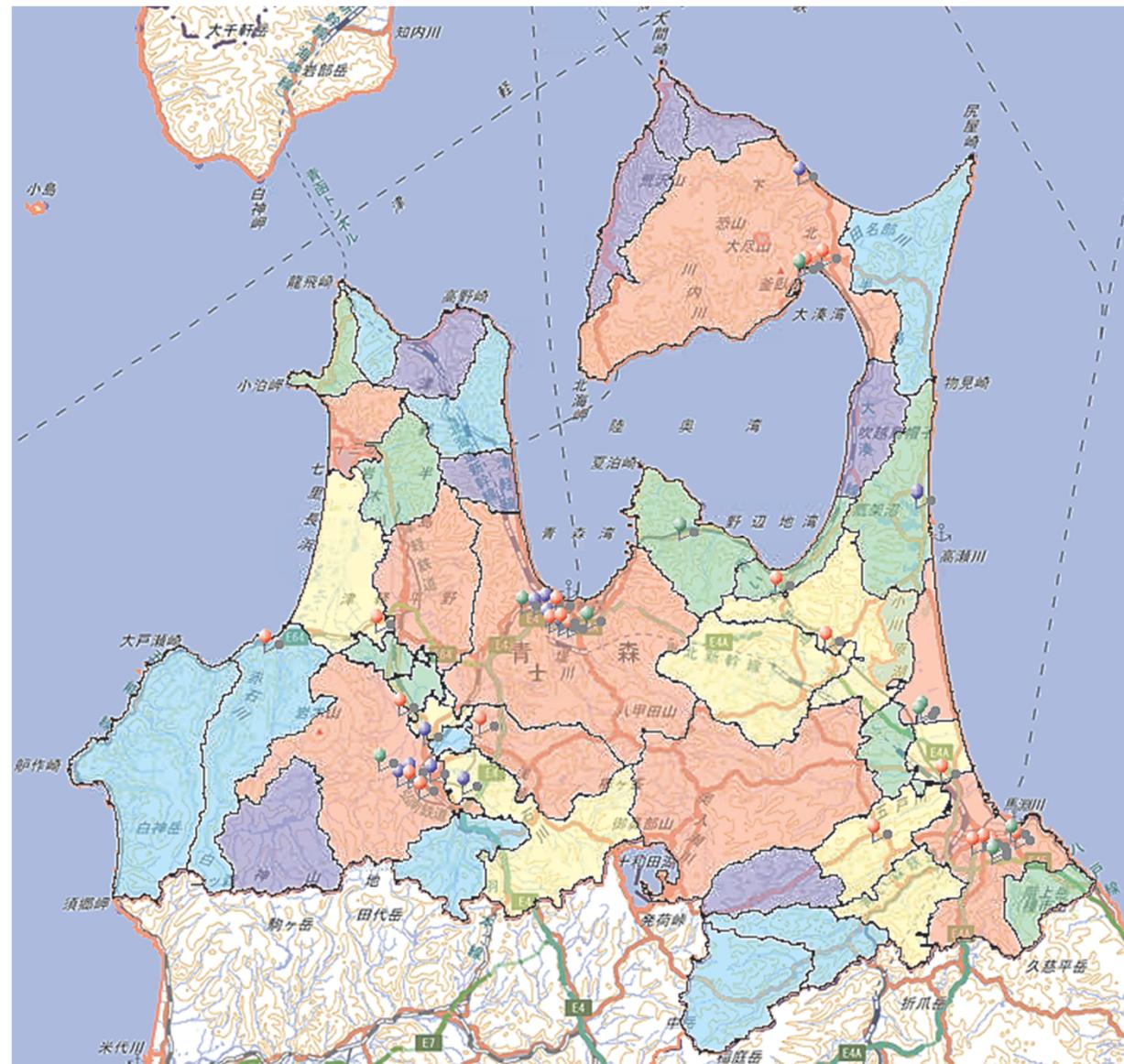
歯科（新規指定）

分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の新規指定機関は、青森県の人口が集中している青森市（10件）、八戸市（7件）、弘前市（6件）の3市に集中している。
人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での新規指定機関が30件であった。
- 人口総数が最も多い区分以外の区分においては、11自治体で新規指定機関が確認されたが、それぞれ1件であり、人口総数の区分が黄色は6件、緑色は4件、青色が1件であった。（紫色の区分は0件。）
- 23自治体では、新規指定機関がないことが確認できる。



青森県内の新規指定保険医療機関状況及び県内の人口総数

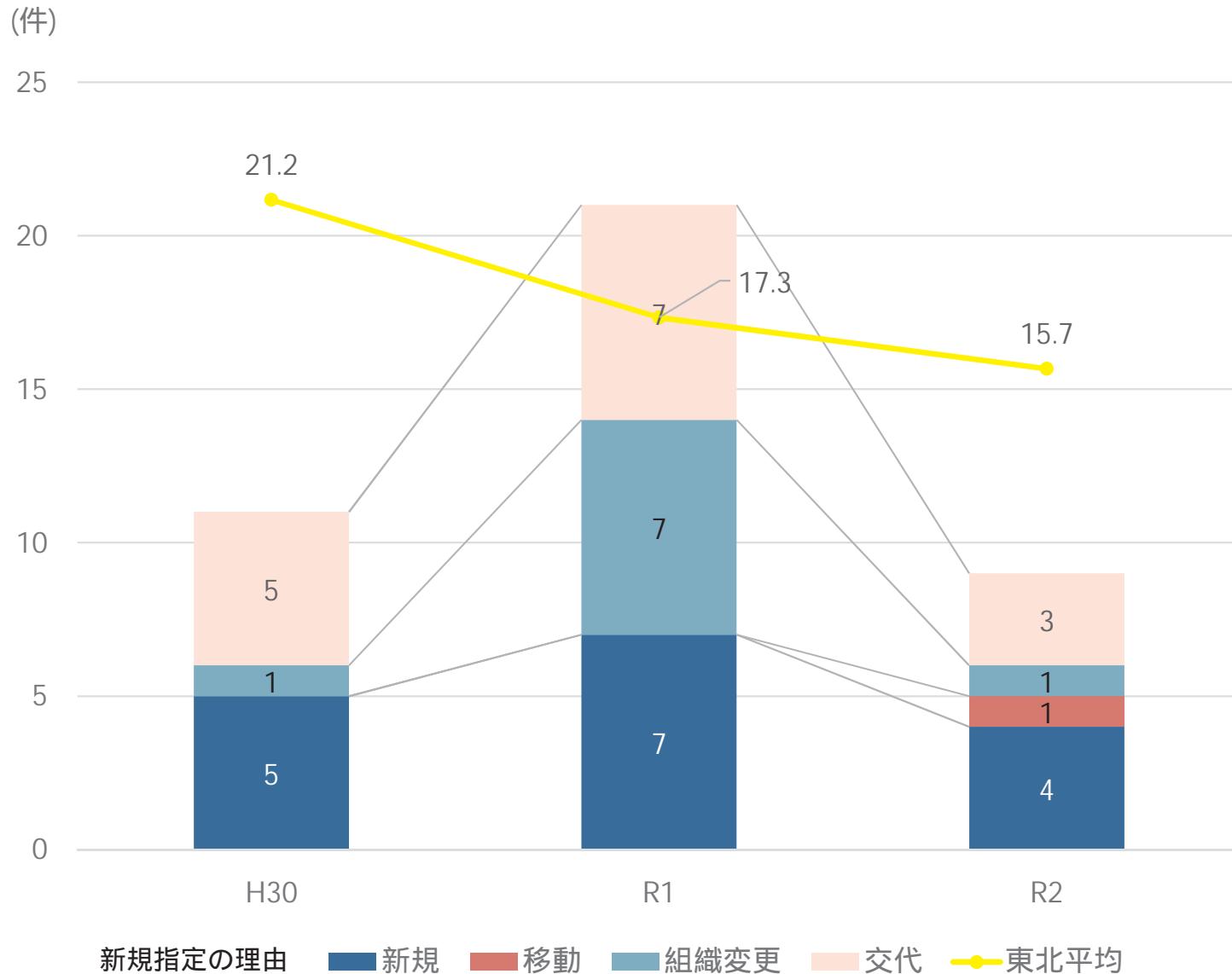


分析結果

- 青森県内における新規指定機関数は、平成30年度11件、令和元年度21件、令和2年度9件と上下しながら推移している。
- 青森県の新規指定機関数は、平成30年度及び令和2年度において、大幅に東北平均を下回っている。

東北厚生局管内における新規指定機関数の平均は、平成30年度21.2件、令和元年度17.3件、令和2年15.7件である。（以下、件数の表示は省略）

青森県内の新規指定保険医療機関（歯科）数の推移

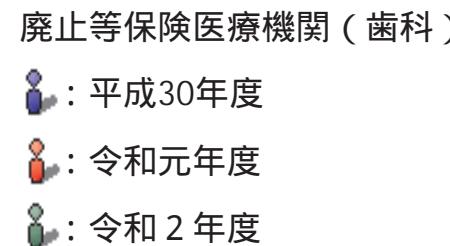


青森県

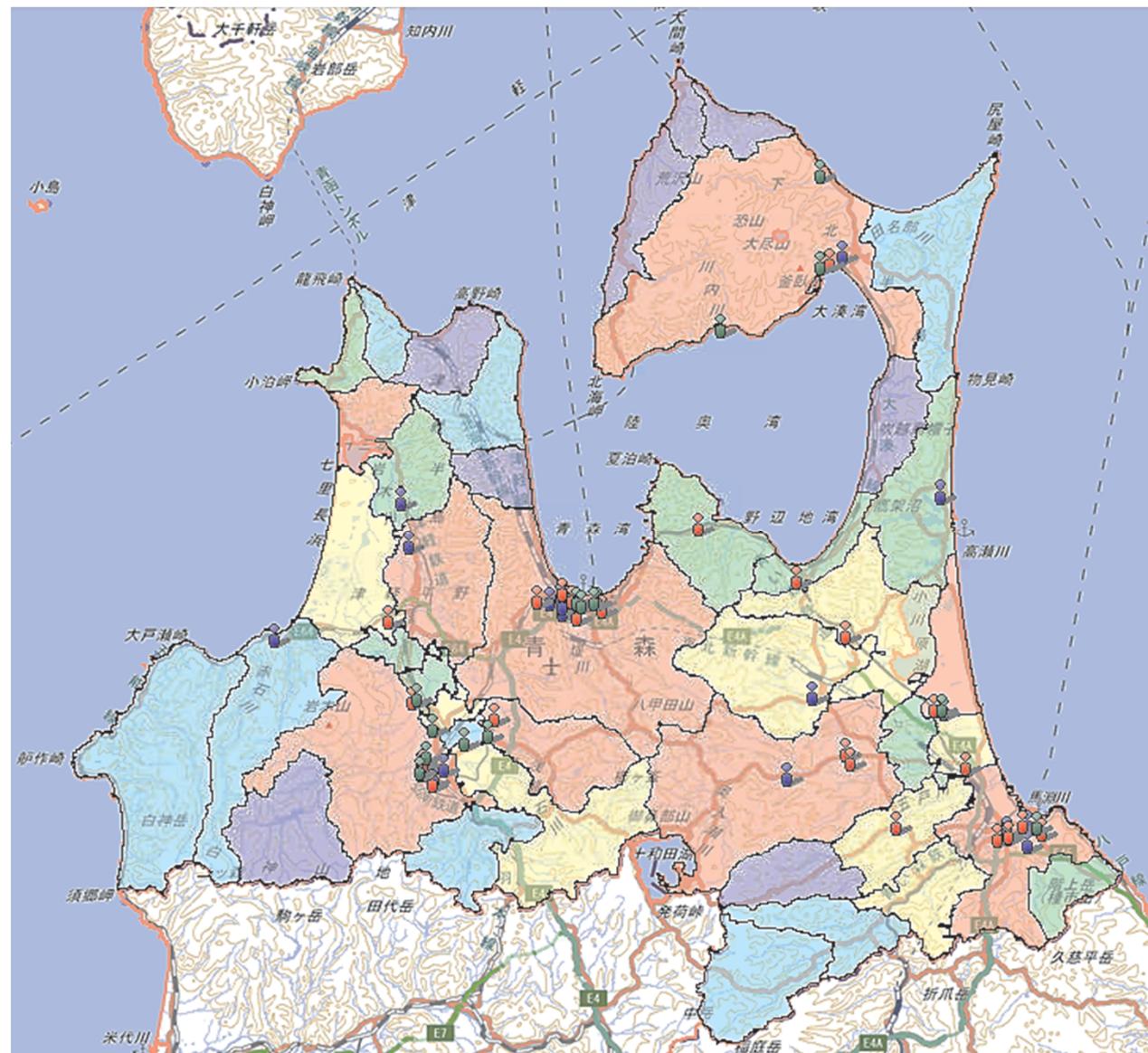
歯科（廃止等）

分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の廃止等機関は、青森県の人口が集中している青森市（15件）、八戸市（10件）、弘前市（8件）の3市に集中している。
人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での廃止等が47件であり、全体（過去3年間で61件）の約77%を占めている。
- 人口総数が最も多い区分以外の区分においては、13自治体で廃止等機関があったが、板柳町の2件以外はそれぞれ1件であった。
- 19自治体では、廃止等保険医療機関がないことが確認できる。



青森県内の廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



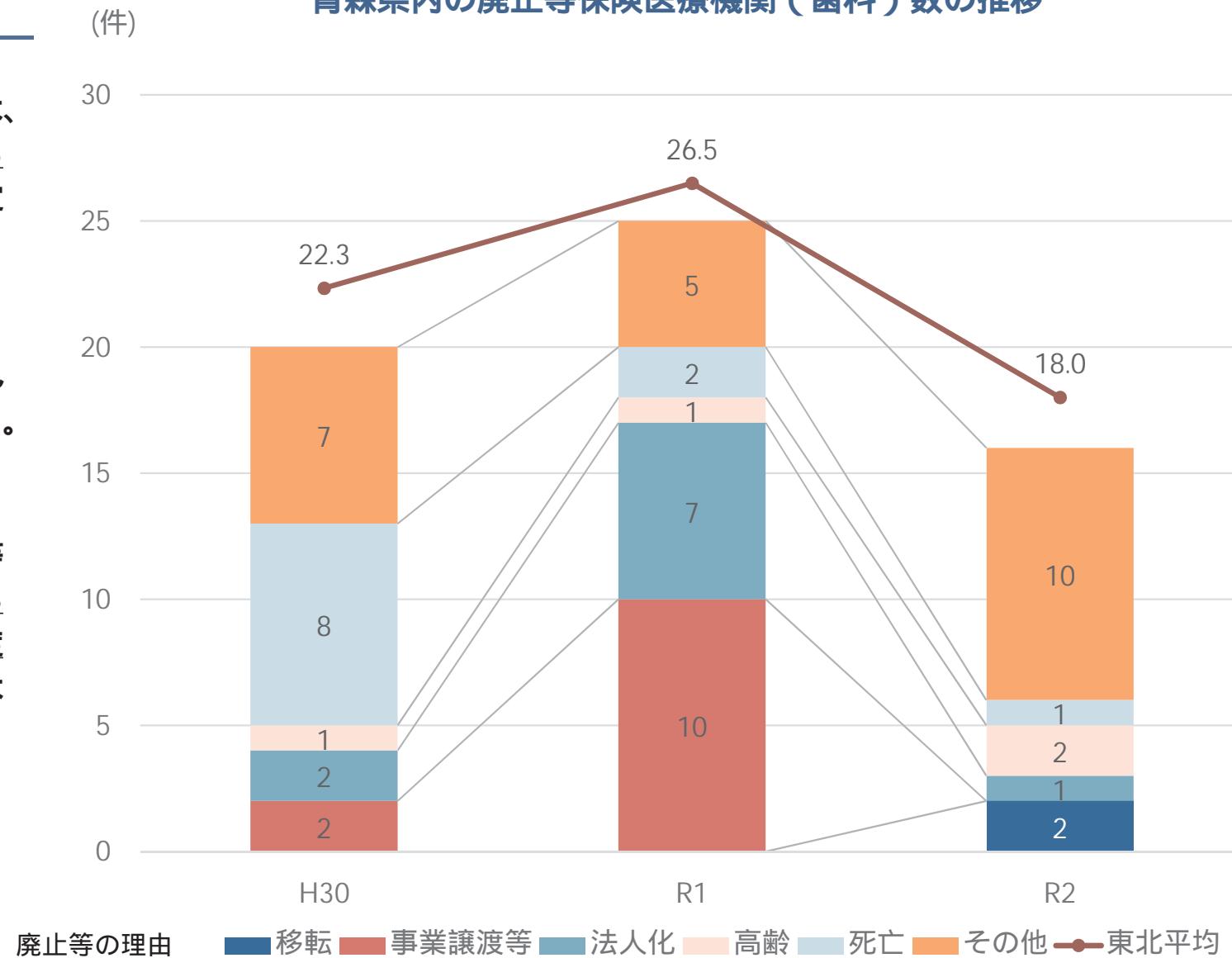
歯科（廃止等）

分析結果

- 青森県内における廃止等機関数は、平成30年度20件、令和元年度25件、令和2年度16件と新規指定機関の状況と同様に上下しながら推移している。
- 青森県の廃止等機関数は、いずれの年度も東北平均を下回っている。

東北厚生局管内における廃止等機関数の平均は、平成30年度22.3件、令和元年度26.5件、令和2年度18件である。（以下、件数の表示は省略）

青森県内の廃止等保険医療機関（歯科）数の推移



青森県

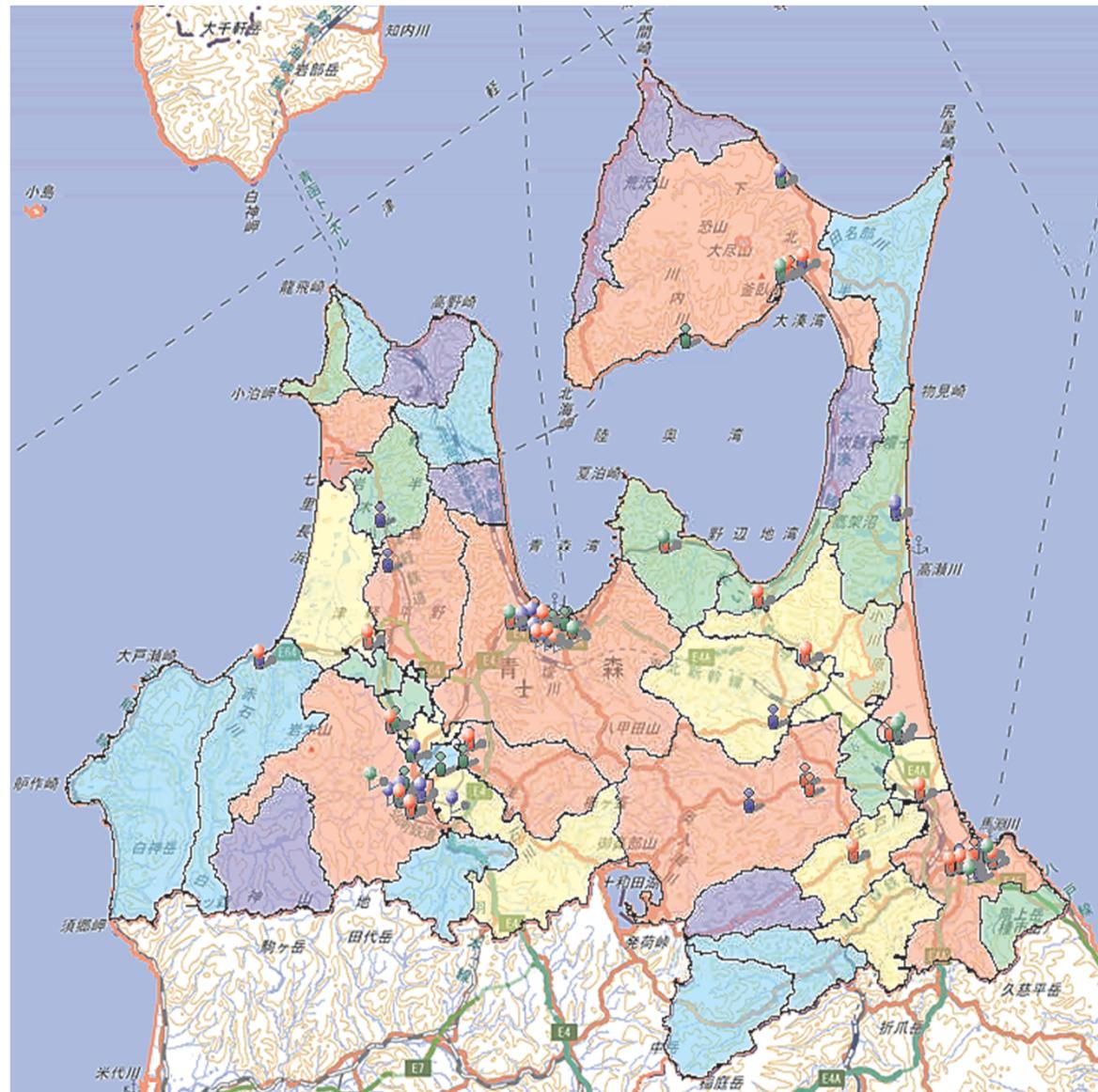
歯科(総合)

分析結果

- 青森県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、ほぼ同様に分布しているが、廃止等機関の方が人口総数にかかわらず広く分布している。
- 新規指定機関が廃止等機関を上回った自治体は、平川市のみで、上回った件数は1件であった。
- 過去3年間において新規指定機関がないにもかかわらず、廃止等機関が存在した自治体は5自治体あり、同地域における保険医療機関の減少が懸念される。



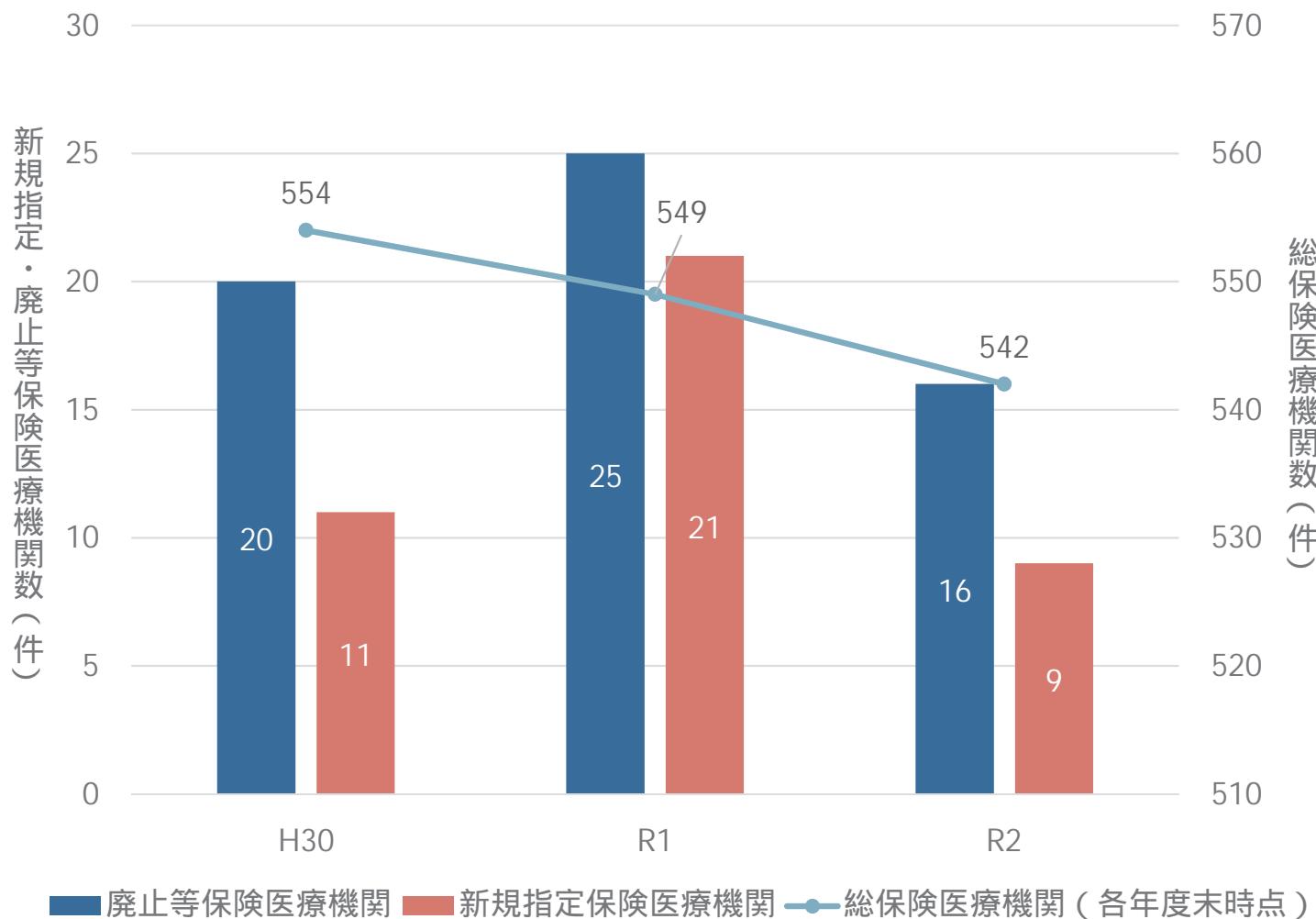
青森県内の新規指定・廃止等保険医療機関状況及び県内の人口総数



分析結果

- 青森県内における保険医療機関の総数は、平成30年度554件、令和元年度549件、令和2年度542件と推移しており、減少傾向にある。
- 過去3年間において、常に、廃止等機関数が新規指定機関数を上回っており、総件数で20件上回った。そのうち17件が人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）であった。

青森県内の新規指定・廃止等保険医療機関（歯科）数と 総保険医療機関（歯科）数の推移



3

青森県（青森事務所）

調剤

ひと、くらし、みらいのために



厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

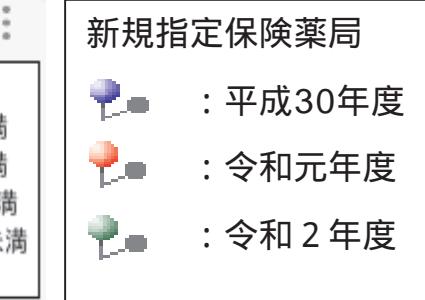
青森県

調剤（新規指定）

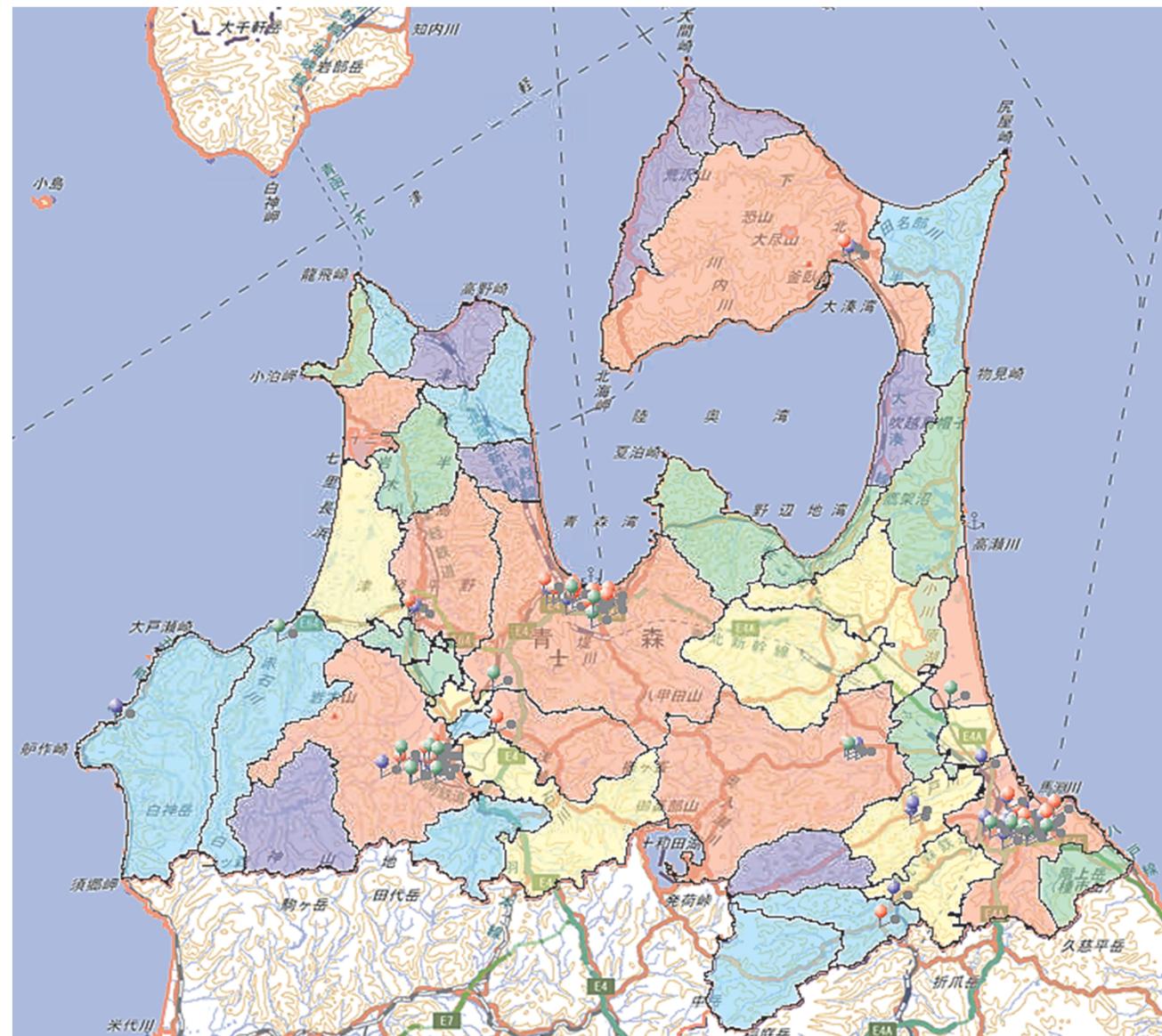
分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の新規指定機関は、青森県の人口が集中している青森市（22件）、八戸市（27件）、弘前市（23件）の3市に集中している。人口総数が最も多い区分での新規指定機関が83件であった。
- 人口総数が最も多い区分以外の区分においては、6自治体で新規指定機関が確認されたが、多くても2件であり、人口総数の区分が黄色は5件、青色が3件である。（緑色と紫色の区分は0件。）
- 26自治体では、新規指定機関がないことが確認できる。

2020年国勢調査 市区町村



青森県内の新規指定保険薬局状況及び県内の人口総数

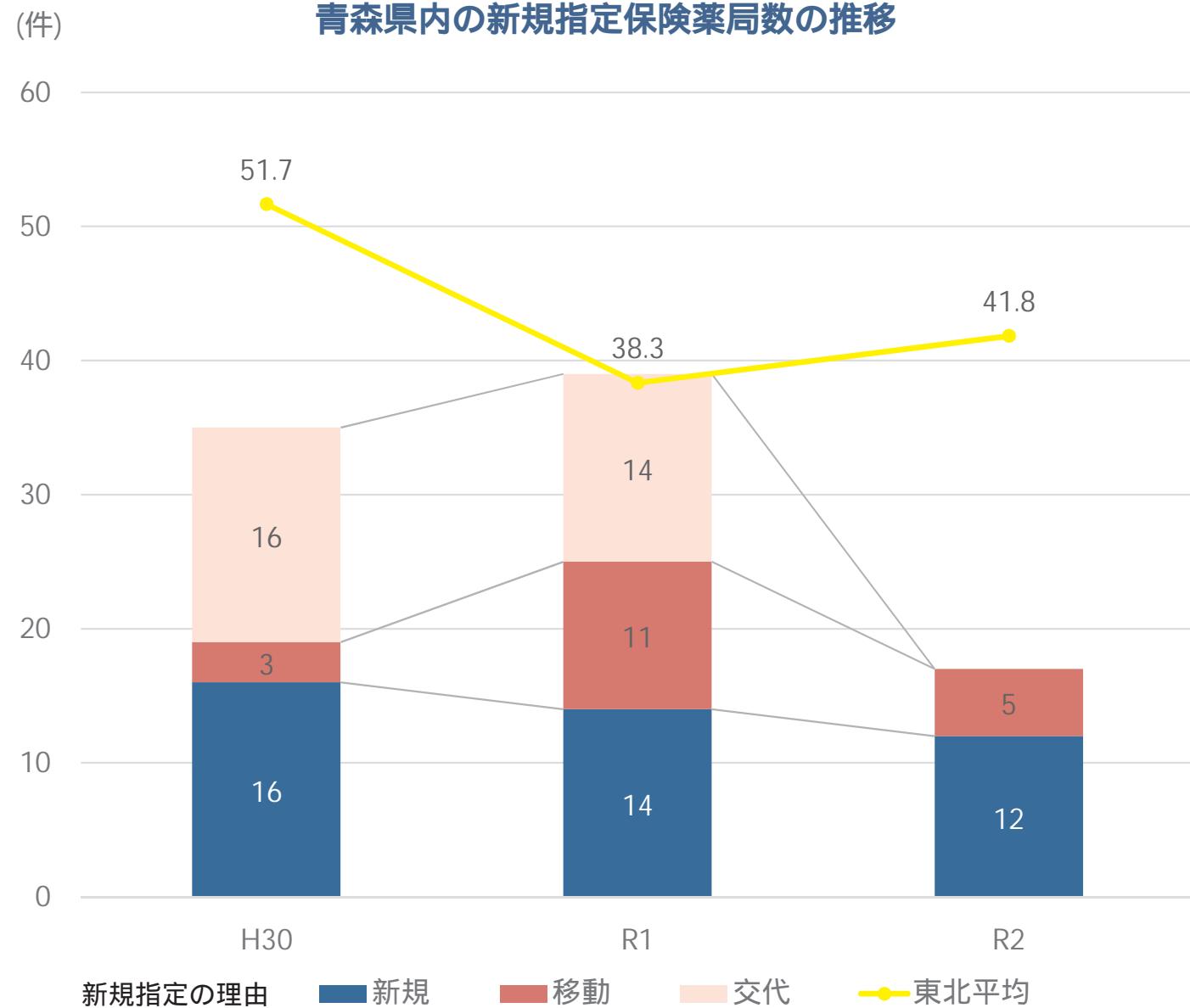


調剤（新規指定）

分析結果

- 青森県内における新規指定機関数は、平成30年度35件、令和元年度39件、令和2年度17件と上下しながら推移している。
- 青森県の新規指定機関数は、令和元年度においては、東北平均と同程度となっていたが、平成30年度及び令和2年度においては、平均を大きく下回っている。

東北厚生局管内における新規指定機関数の平均は、平成30年度51.7件、令和元年度38.3件、令和2年度41.8件である。（以下、件数の表示は省略）



青森県

調剤（廃止等）

分析結果

- 平成30年度から令和2年度までの過去3年間の廃止等機関は、青森県の人口が集中している青森市（13件）、八戸市（24件）、弘前市（19件）の3市に集中している。
人口総数が最も多い区分の自治体（赤色）での廃止等機関が76件であった。
- 人口総数が最も多い区分以外の区分においては、7自治体で廃止等機関があったが、すべて3件以内である。
- 26自治体では、廃止等機関はないことが確認できる。

2020年国勢調査 市区町村

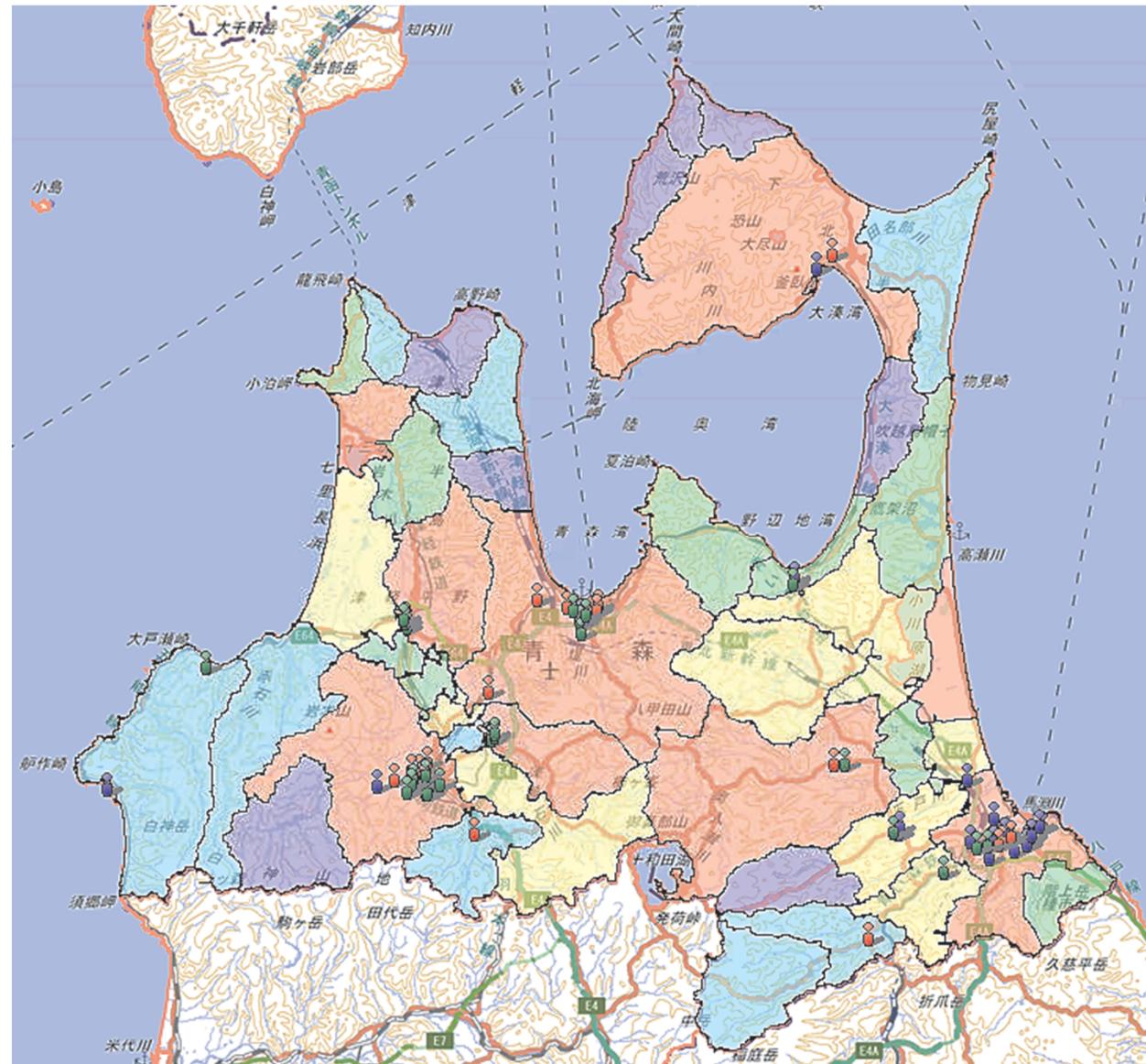
⋮



廃止等保険薬局

- ：平成30年度
- ：令和元年度
- ：令和2年度

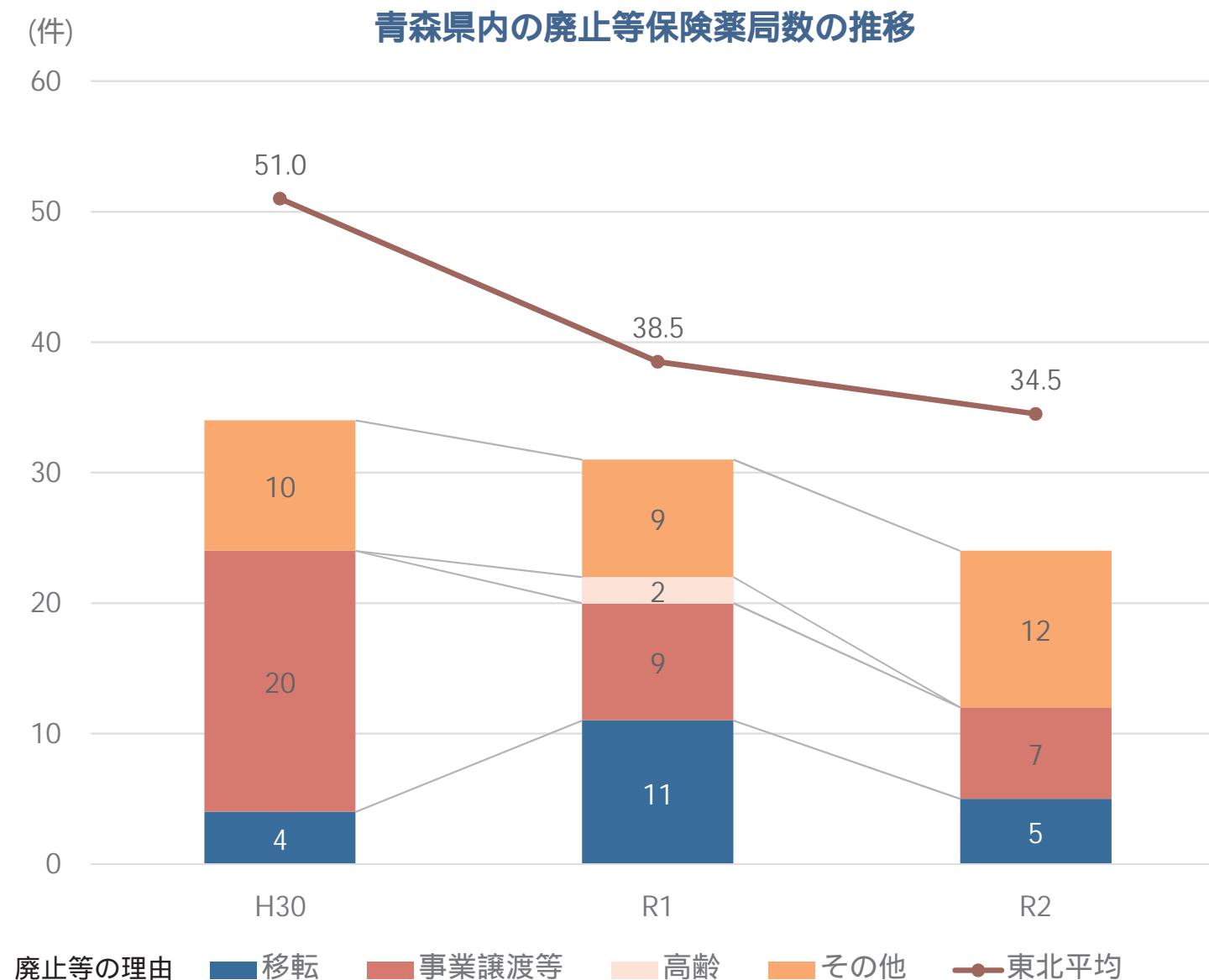
青森県内の廃止等保険薬局状況及び県内の人口総数



分析結果

- 青森県内における廃止等機関数は、平成30年度34件、令和元年度31件、令和2年度24件と減少傾向で推移している。
 - 青森県の廃止等機関数は、いずれの年度も東北平均を下回っている。

東北厚生局管内における廃止等機関数の平均は、平成30年度51件、令和元年度38.5件、令和2年度34.5件である。（以下、件数の表示は省略）



青森県

調剤（総合）

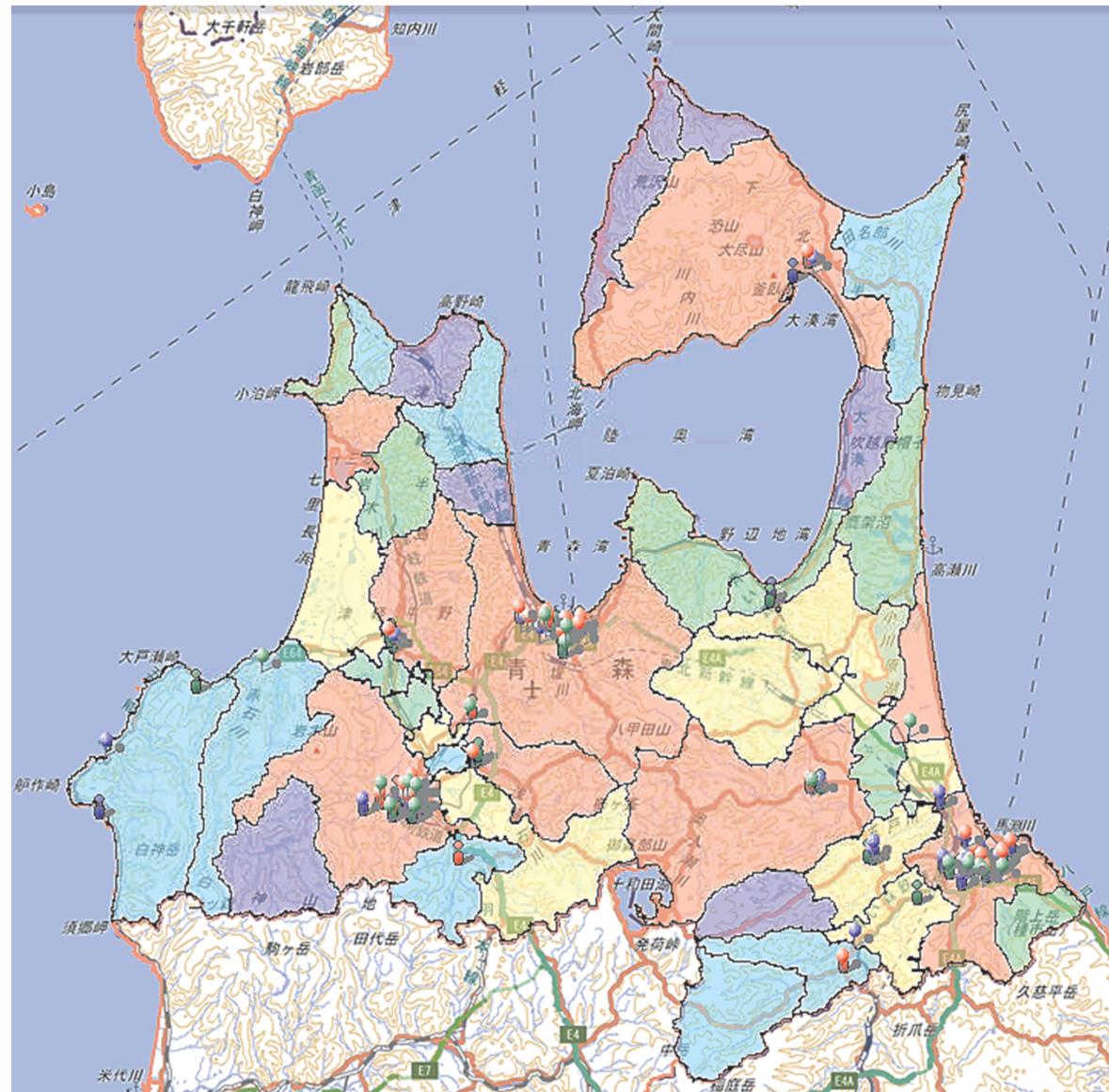
分析結果

- 青森県内における新規指定機関と廃止等機関を重ね合わせると、ほぼ同様に分布している。
- 過去3年間において廃止等機関が、新規指定機関を上回った自治体は7自治体あり、他方、新規指定機関が廃止等機関を上回った自治体は6自治体で、そのうち人口総数が最も多い区分の自治体が5自治体を占める。
- 上記の廃止等機関が上回った自治体における医療資源の低下が懸念される。

2020年 国勢調査 市区町村



青森県内の新規指定・廃止等保険薬局状況及び県内の人口総数



分析結果

- 青森県内における保険薬局の総数は、平成30年度597件、令和元年度605件、令和2年度598件と上下しながら推移している。
- 過去3年間において、平成30年度と令和元年度は新規指定機関数が廃止等機関数を上回ったが、令和2年度は廃止等機関数が、新規指定機関数を上回っている。

